

企画展 「ミュージアムキャラバン」

日時 4月15日(土)～5月31日(水)

県内の学校などで大人気の出張展示「ミュージアムキャラバン」。今回、魚が初登場します。昆虫・化石・魚の世界をお楽しみください。

料金 無料(常設展観覧券で御覧いただけます) **会場** 企画展示室1

ギャラリートーク

渋川教授の『魚の世界』徹底解説!

日時 5月4日(木) 13:30～14:00

講師 渋川浩一 教授

ついに登場したミュージアムキャラバン「魚の世界」。川の魚から深海魚まで、静岡の魚について知るチャンスです!

定員 30人 **料金** 無料 **予約** 要 **会場** 講堂

企画展 コレクション展

「高山の女神 Parnassius パルナシウス」

日時 4月29日(土)～6月4日(日)

北半球の高緯度地域に約50種が生息する美しいアゲハチョウの一群 Parnassius ウスバアゲハ属を紹介します。

料金 無料(常設展観覧券で御覧いただけます) **会場** 企画展示室2

ゴールデンウィークは、大人も楽しめる教養講座や子ども向けの体験イベントを開催します。本紙で紹介している以外にも沢山のイベントを用意しています。詳しくはホームページをご覧ください。

体験講座 頭骨標本を作ろう

日時 4月29日(土) 11:00～15:00 (休憩 12:00～13:30)

講師 佐々木彰央 氏

頭骨標本を作ってみませんか?一度覚えれば他の生き物の頭骨標本も作れるようになります!

対象 小学生以上 **定員** 20人 **料金** 100円

予約 要 **会場** 講堂

対話型展示 地球家族会議(津波部会)

日時 5月4日(木) 13:30～14:00

講師 菅原大助 准教授

海岸は、商工業、観光、居住などあらゆる面において重要な環境ですが、同時に津波などの自然災害のリスクにさらされている場所でもあります。この会議で、津波の実態と私達の備えを知り、津波とどのように付き合っていけば良いか考えてみましょう。

対象 どなたでも **定員** 20人 **料金** 無料 **予約** 要 **会場** 展示室9

観察会 自然観察路巡見(昆虫調査隊)

日時 4月30日(日) 10:30～14:30 (休憩 12:00～13:30)

講師 岸本年郎 准教授

ミュージアムの裏山、自然観察路にどんな昆虫がすんでいるかを調べる昆虫調査隊を結成します。調査に参加して下さる市民の方を募集します。

対象 小学生以上 **定員** 15人 **料金** 無料

予約 要 **集合場所** 講座室A

講演 絶海の孤島 南硫黄島探検記

日時 5月5日(金) 13:30～14:30

講師 高山浩司 准教授

日本最後の秘境、南硫黄島。11年前、若き日の高山准教授が調査隊の一員として足を踏み入れた地です。本講演では、南硫黄島の自然環境を映像と共に紹介します。

対象 どなたでも **定員** 60人 **料金** 無料 **予約** 要 **会場** 講堂

講演 絶滅危惧種「サワトラノオ」を知っていますか?

日時 5月3日(水) 13:30～14:30

講師 長谷川 望 氏

静岡県では富士市と沼津市に跨る浮島ヶ原にしか自生しない「サワトラノオ」の観察や保全活動を紹介。自然を守ることに考えてみましょう。

対象 どなたでも **定員** 60人 **料金** 無料

予約 要 **会場** 講堂

体験講座 春ぶんぶん♪ミツバチのヒミツ

日時 5月7日(日) ①11:00～12:00 ②13:30～14:30

講師 寺田幸宏 氏/高田 歩 氏

ミツバチの暮らしには、ヒミツがたっぷり! ミツバチをこよなく愛する先生にそのヒミツを聞いてみよう!

対象 小学生以上(ただし、保護者付き添いがあれば幼児も可) **定員** 各40人 **料金** 100円 **予約** 要 **会場** 講堂

申込方法

- 全てのイベント参加には、常設展観覧券の購入が必要です。
- 予約が必要な講座は、①電話 ②FAX ③チケット窓口のいずれかの方法でお申込みください。
- 定員に達した場合、受付を締め切らせていただきます。

TEL.054-260-7111 FAX.054-238-5870

お申込みの際は、①イベント名 ②ご希望の回 ③お名前 ④人数 ⑤電話番号をお伝えください。

予約受付開始日/4月11日(火)
予約受付時間/開館日の10:00～17:30

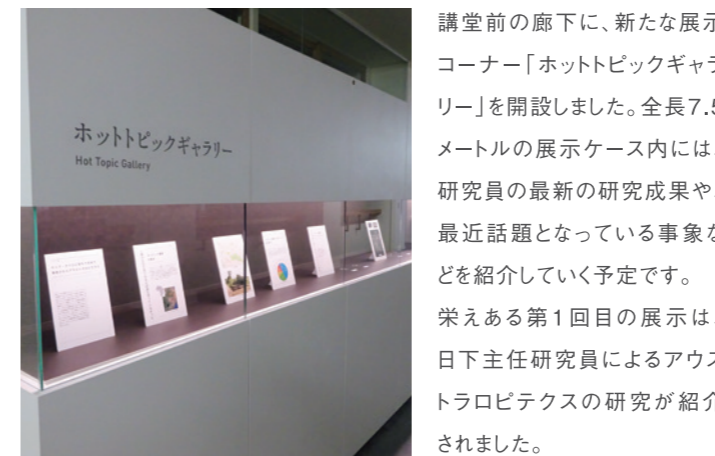
2016.12.10-2017.3.26 企画展「静岡のチョウ 世界のチョウ」開催



開館以来初となる有料企画展では、ミュージアムが収蔵している標本の中でも質・量ともに圧巻である、チョウのコレクションを紹介しました。静岡の全141種のチョウや世界各国の珍チョウの展示のほか、人が作った環境で増えるチョウ・減るチョウを、環境史の視点から紹介しました。会期の前半には幻のチョウ「ブータンシボリアゲハ」(東京大学総合研究博物館蔵)を展示し、人気を博しました。

また、会期中に矢後勝也氏・永幡嘉之氏・養老孟司氏等計8名の講師を招き、「チョウを調べる」(2016.12.18)「チョウを守る」(2017.1.29)「チョウを楽しむ」(2017.2.19)をテーマに、記念講演会を開催しました。

2016.12.2 ホットピックギャラリー開設



2017.1.24 各国大使来訪



在京大使館のスタディツアーの一環として、12か国と欧州連合の大使や大使館職員がミュージアムを訪問し、常設展や企画展を観覧されました。展示室9では、中澤進インタープリターによる「世界の食」をテーマとした地球家族会議を各国大使が囲み、展示室10では百年後の各国が豊かであるために、何を守るべきかを「百年カード」に書いていただきました。

2017.2.11-13 国際シンポジウム開催



2017.2.16 ラジモハン・ガンジー氏夫妻来訪



グランシップにおいて、ふじのくに地球環境史ミュージアムと2017年12月23日に開館予定の富士山世界遺産センター(仮称)が合同で、国際シンポジウム「人類世の到来—自然史と文化史—」を開催しました。12日の公開シンポジウムでは、ミュージアムの岸本年郎准教授など国内外の新進気鋭の研究者が登場し、約100名が聴講しました。

元インド上院議員で平和活動家のラジモハン・ガンジー氏が、夫妻でミュージアムを訪れ、高山准教授の案内で常設展や企画展を観覧しました。ラジモハン・ガンジー氏は、インド建国の父であるマハトマ・ガンジー氏の孫にあたり、静岡・アジアフォーラムの特別講演のため来日されたところ、あわせてミュージアムを訪問していただきました。